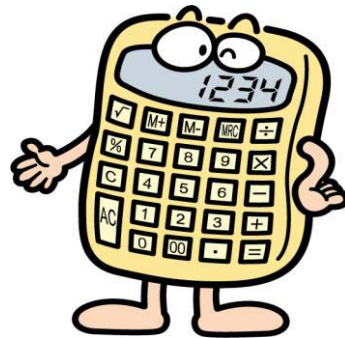


平成28年度



なはしの
よさんの
はなし



那 覇 市

『なはしのよさんのはなし』について

ハイサイ！（こんにちは！）

市民のみなさんにとって市の予算は、「どんな収入があるの？」「どんな市民サービスあるの？」「借金（市債）はどのくらいあるの？」など、いろいろ気になるものだと思います。

実際に那覇市の予算書を見てみると、頁は200頁以上にわたり、「歳入予算」や「歳出予算」が、款、項、目という区分により表示されています。予算書の内容は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然とならんでいて、市民のみなさんには少々わかりづらいかもしれません。

そこで、市民のみなさんにとってわかりやすい予算書として「なはしのよさんのはなし」を作成しました。

本冊子は、①予算とは何？（基礎知識編）、②那覇市の収入と支出（収入と支出）、③那覇市の予算を家計簿にすると（家計簿に置き換えると）、④平成28年度の主要事業（主要事業）、⑤決算等資料（資料編）の項目に分け説明しています。

本冊子をとおして、市民のみなさんが那覇市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

ユタサルグトゥ ウニゲー サビラ。（よろしく お願いします。）

企画財務部 財政課

※那覇市では、平成24年度から沖縄の伝統文化の継承発展を目的として、「ハイサイ運動」（沖縄固有のことは・ウチナーグチによるあいさつの推奨、等）を推進しています。

CONTENTS（目次）

「なはしのよさんのはなし」について	1
基礎知識編	
予算とは？ 予算の決め方は？ 予算の変更は？	2
予算のその後は？ 予算の規模は？	3
予算が必要なわけ・予算の使いみち	4
収入と支出	5
家計簿に置き換えると	9
主要事業	13
資料編	19
おわりに	21

基礎知識編

予算についてのいろいろな「おしえて!」についてお答えします。



予算とは？

Q 予算ってなんだろう？ おしえて！

A 予算とは、1年度間（4月から翌年の3月まで）の収入（入ってくるお金）と支出（使うお金）を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。

市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？

Q どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて！

A 市長が予算案をつくります。そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

予算の変更は？

Q 一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて！

A 変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

予算のその後は？

Q 予算を使ったあとは？ おしえて！

A その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果（入ってきたお金と使ったお金）が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

予算の規模は？

Q 那覇市の予算の規模は？ おしえて！

A 「一般会計予算」では、1, 430億500万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2, 376億4, 213万円になります。

予算には一般会計と特別会計と公営企業会計があります。各会計の内容は？



一般会計予算
1, 430億500万円



特別会計予算
813億9, 402万円



公営企業会計予算
132億4, 311万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税（市民税や固定資産税など）や国・県支出金などです。

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計予算があります。

- ・土地区画整理事業特別会計（4, 053万円）
- ・国民健康保険事業特別会計（491億8, 052万円）
- ・市街地再開発事業特別会計（35億5, 967万円）
- ・介護保険事業特別会計（250億3, 793万円）
- ・後期高齢者医療特別会計（30億2, 987万円）
- ・病院事業債管理特別会計（3億28万円）
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計（2億4, 522万円）

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算（76億8, 609万円）
- ・下水道事業会計予算（55億5, 702万円）

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。



2, 376億4, 213万円

予算が必要なわけ

Q 予算はなんのために必要なんですか？ おしえて！

A 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。今後、1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会の議決を得ることによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールをすることができます。そのためにも予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長はその責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の執行と歳出における予算の執行とは、その性質や効力の面で異なります。歳入予算は単なる収入の見込みにすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、また、予算額よりも少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は成立した予算の目的に従って、予算の範囲内において執行する必要があります。つまり、予算額を超えて支出することはできません。

このように予算を決めることによって、予算執行権のある市長の権限を民主的にコントロールすることが可能となります。

予算の使いみち

Q 市民一人当たりの経費と市税の使いみちは？ おしえて！

A 市民一人当たりだと一般会計では下記のような使いみちになります。

市民一人当たり行政経費及び市税負担額（一般会計）

●人口（平成28年3月31日現在） 323,293人 ●平成28年度市税総額 45,145,675,000円
●市民1人当たりの行政経費 442,339円 ●市民1人当たりの市税負担 139,643円

区 分	金額（円）
議会費（議会運営のための経費）	2,403
総務費（市役所の運営、広報などのための経費）	28,207
民生費（福祉施設の運営、生活扶助、児童及び老人福祉などの経費）	221,093
衛生費（市民の健康維持やごみ処理などの経費）	29,915
労働費（雇用拡大や失業対策などに要する経費）	113
農林水産業費（農林漁業の振興、技術の普及を図るための経費）	402
商工費（商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費）	3,297
土木費（道路、橋、河川、公園などの基盤整備のための経費）	59,592
消防費（市民の生命、財産を守り、災害を防ぐための消防活動経費）	8,687
教育費（学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費）	49,374
公債費（事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債（借金）の返済金）	39,039
その他	217

基礎知識編はここまでです。次に那覇市の収入と支出の説明をします。



収入と支出

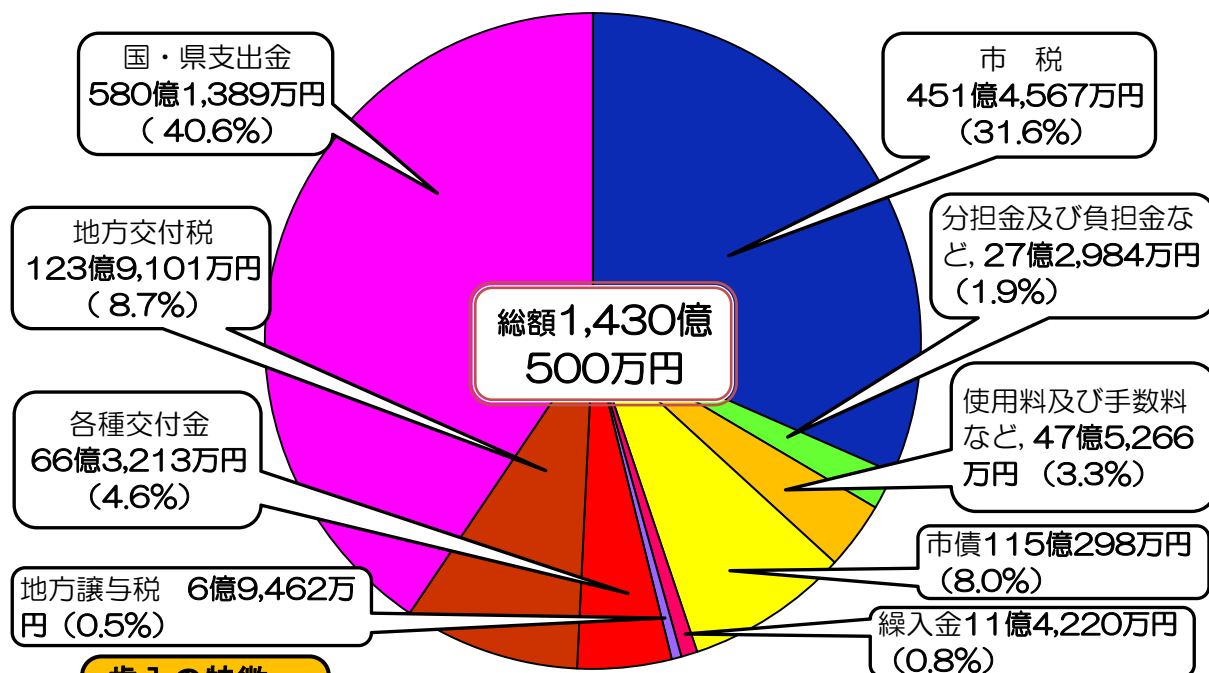
収入編

予算書では、収入のことを歳入と表現します。ここでは、那覇市一般会計予算の歳入について説明します。

○歳入には、那覇市が自力で調達できる「自主財源」と那覇市以外の組織にたよる「依存財源」があります。平成28年度予算の歳入では次のような収入があります。

財源	歳入の名称等	収入の説明（収入名・金額・説明など）	
自主財源	市税	・ 個人市民税 143億910万円	所得などに応じて納める税です。
		・ 法人市民税 46億6,458万円	市内の会社が収益などに応じて納めています。
		・ 固定資産税 210億339万円	土地や家屋などを所有している方が納めています。
		・ 軽自動車税 7億3,779万円	軽自動車を持っている方が納めています。
		・ 事業所税 9億2,968万円	市内の会社が納めています。
		・ 市たばこ税 34億9,113万円	タバコを買った方が納めています。
		・ 入湯税 1,000万円	温泉を利用した方が納めています。
	その他の収入	・ 分担金及び負担金 14億1,429万円 ・ 繰越金 5億円 ・ 使用料及び手数料 32億8,873万円	・ 財産収入 8億1,555万円 ・ 諸収入 14億6,393万円 ・ 繰入金 11億4,220万円
依存財源	国・県支出金	・ 国庫支出金 399億933万円 ・ 県支出金 181億456万円	特定の行政目的を達成するために、当該経費にあててることを条件に交付されます。
	地方交付税	・ 普通交付税 115億6,377万円 ・ 特別交付税 8億2,724万円	国は、地方公共団体間での財源の不均衡を調整して、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障します。国税として徴収した税の一定割合を、地方公共団体の財政状況等に応じて配分します。自由に使える一般財源です。
	地方譲与税	・ 自動車重量譲与税 3億3,223万円 ・ 特別とん譲与税 1,118万円 ・ 航空機燃料譲与税 2億1,422万円 ・ 地方揮発油譲与税 1億3,699万円	国は、国税として徴収した特定税目の収入額を、一定の客観的な基準によって地方公共団体に譲与します。財政状況等を考慮することなく、全地方公共団体に一律の客観的基準で配分される点で地方交付税と異なります。
	市債	・ 市債 115億298万円	地方公共団体が事業を実施するために国や金融機関などから借り入れる借入金のうち、その返済が2年度以上にわたる長期の借入金のことです。家計における借金に相当します。
	各種交付金	・ 利子割交付金 5,522万円 ・ 配当割交付金 1億1,543万円 ・ 株式等譲渡所得割交付金 1億629万円 ・ 地方消費税交付金 58億7,201万円 ・ 自動車取得税交付金 7,928万円 ・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 2億8,987万円 ・ 地方特例交付金 6,903万円 ・ 交通安全対策特別交付金 4,500万円	

○歳入予算の内訳をグラフにあらわして特徴を説明します。



歳入の特徴

- ①市民のみなさんが納める税が、収入（歳入）の約31.6%です。
- ②国、県から使いみちを指定されて、特定の事業に対して交付される国・県支出金が約40.6%となっています。
- ③地方交付税は123億9,101万円で、昨年度に比べ約2億4千万円、地方消費税交付金も約9億8千万円増えています。
- ④その他の収入のうち、繰入金（基金の取り崩しなど）の収入は11億4,220万円で、昨年度より約6億8千万円減っています。
- ⑤市債は115億298万円で、臨時財政対策債や消防債の減などにより、昨年度より約4億9千万円減っています。



那覇市の市税収入は増えているの？減っているの？どっち？おしえて！

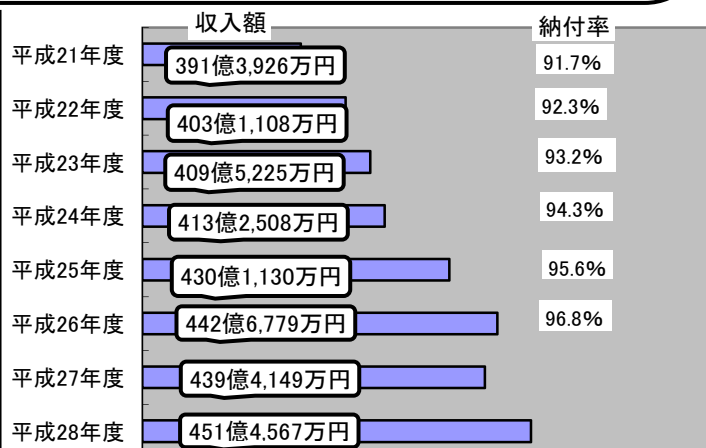


那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成26年度決算で442億6,779万円と、前年度比12億6千万円の増加となっています。また、収納率も96.8%となっており、前年度より1.2%伸びています。平成28年度予算額においても、451億4,567万円を見込んでいます。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成26年度決算では、前年度に比べ約12億6千万円増加しています。主な内訳では、市民税 約9億2千万円、固定資産税 約3億9千万円などが増となっています。

また、市税の納付率については、平成21年度は景気悪化の影響により91.7%でしたが、平成22年度には92.3%と向上し、平成25年度は95.6%、平成26年度には96.8%まで向上しています。

※注) 右のグラフは平成26年度までは決算額、平成27、28年度は予算額です。



支出編

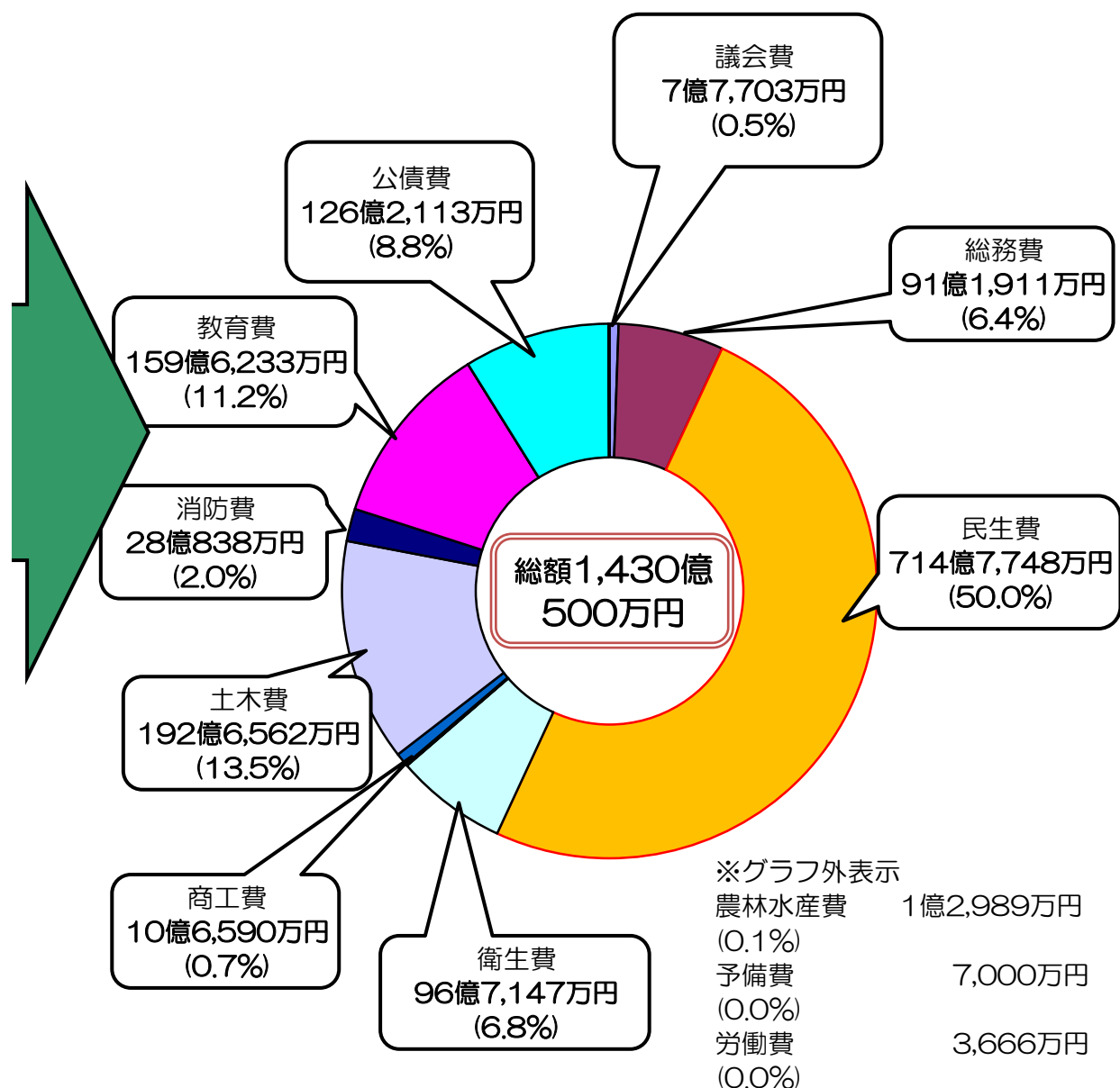
予算書では支出のことを歳出と表現します。歳出予算には「目的別」と「性質別」の見方がありますが、ここでは、那覇市一般会計予算の歳出予算を目的別で説明します。

○平成28年度一般会計の歳出予算（目的別）では、次のような支出があります。

（単位：千円、％）

名称	概要	金額	割合
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに係る経費です。	777,029	0.5%
総務費	庁舎などの管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、市税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に係る経費です。	9,119,110	6.4%
民生費	社会福祉の充実を図るため、児童、老人、心身障がい者などのための社会福祉施設の整備、管理運営や生活保護などに係る経費です。	71,477,481	50.0%
衛生費	市民の健康を保持増進し、生活環境の改善を図るとともに、医療、公衆衛生、精神衛生などに係る経費と、ごみなどの一般廃棄物の収集・処理などに係る経費です。	9,671,471	6.8%
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費です。	36,656	0.0%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに係る経費です。	129,887	0.1%
商工費	商工業の振興と、中小企業の育成、企業誘致などに係る経費です。	1,065,898	0.7%
土木費	まちの基盤整備を図るため、道路、河川、住宅、公園などの各種公共施設の建設、整備を行うとともに、これらの施設の維持管理に係る経費です。	19,265,624	13.5%
消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を守り、災害の防除などに係る経費です。	2,808,380	2.0%
教育費	教育の振興と文化の向上を図るため、学校教育、社会教育などの教育行政に係る経費です。	15,962,325	11.2%
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費です。	4	0.0%
公債費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債（借金）の返済金です。	12,621,134	8.8%
諸支出金	支出の性質により、他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。	1	0.0%
予備費	緊急に支出を必要とする場合のための経費です。	70,000	0.0%
計		143,005,000	100%

○歳出予算（目的別）の内訳をグラフにあらわして特徴を説明します。



歳出の特徴

- ①福祉充実に係る民生費が昨年度と比べ49億7,494万円増え、割合は50.0%を占めています。
- ②幼稚園・小・中学校校舎、給食センターの改築工事、校舎耐震化工事のため教育費が昨年度と比べ29億7,691万円増え、割合も1.5%増加しています。
- ③国や金融機関などから借り入れる市債（公債費）は、昨年度と比べ15億2,385万円減り、割合も1.7%減っています。

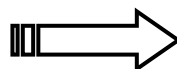
家計簿に置き換えると



収入は？

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。収入を2万分の1に置き換えてみます。

那覇市の一般会計予算
(1年度間の収入)



2万分の1へ

項 目	税の説明	金額(単位:千円)
市 税	みなさんが、那覇市に納める税金です。	45,145,675
分担金及び負担金など	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。	2,729,840
使用料及び手数料など	市の施設を利用する際に支払うお金です。	4,752,659
市 債	銀行などから借金をしています。	11,502,979
繰 入 金	主に、基金を取り崩しています。	1,142,205
地方譲与税 地方消費税交付金など 地方交付税	みなさんが国や県に納める税金の一部です。使いみちは自由です。	694,621 6,632,128 12,391,006
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部です。使いみちが決められています。	58,013,887
計		143,005,000

自主財源と依存財源

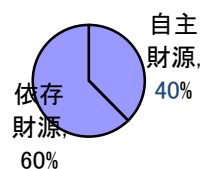
那覇市の一般会計予算の約40%が市税などの自主財源の収入です。
国からの交付税などの依存財源は約60%です。

【自主財源】市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、
財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことで 地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

※自主財源の比率が大きいことが大切です。



2万分の1に置き換えて…那覇市の収入(歳入)予算を家計簿に例えてみました！ (支出(歳出)予算の家計簿は、12頁に掲載しています。)

なは家の家計簿
(1年間の収入状況)

収入項目	金額(万円)
基本給与	226
諸手当	13
パート収入	24
銀行からの借り入れ	58
預金の取り崩し	6
親からの仕送り	98
親から特別にもらう仕送り	290
計	715

那覇市の平成28年度の一般会計予算は、1,430億500万円です。

数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿(収入)の特徴

年間の収入は、決して低いとは言えません。

しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。

今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。

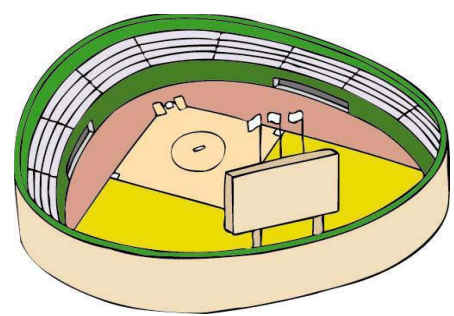
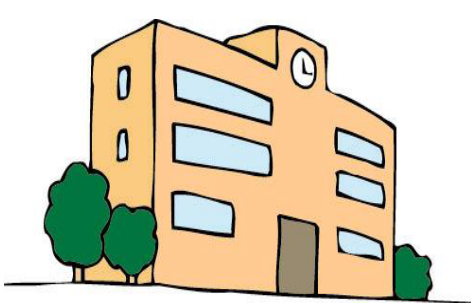
また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。



借金(市債)をするのは、なぜ？ おしえて！



学校などの公共施設の建設費には一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために借金をします。資金繰りという面もありますが、将来の市民のみなさんにも公平に負担してもらう面もあります。



支出は？

性質別（一般会計予算）

支出（歳出）を性質別で見えます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。性質別で見た支出を2万分の1に置き換えてみます。

那覇市の一般会計予算（性質別）
（単位：千円）

2万分の1へ

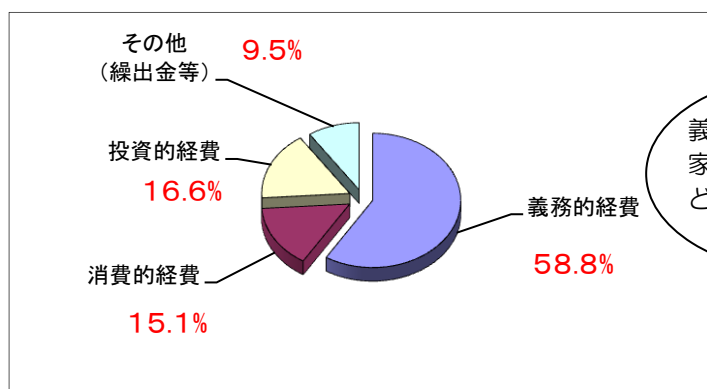
人件費	19,128,417	義務的経費	義務的経費 人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。 ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。 ・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。 ・公債費…過去に借り入れた借金（収入の部の「市債」）の返済にかかる費用です。
扶助費	52,407,474		
公債費	12,621,134		
小計	84,157,025		

物件費	13,386,006	消費的経費	消費的経費 後年度に形を残さない性質の費用です。 ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。 ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。 ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。
維持補修費	531,593		
補助費等	7,672,615		
小計	21,590,214		

普通建設事業費	23,676,361	投資的経費	投資的経費 幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。
単独	4,611,521		
補助	19,064,840		
災害復旧事業費	4		
単独	0		
補助	4		
小計	23,676,365		

積立金	413,414	その他の経費	その他の経費 その他の経費には、上記以外の経費を含めています。 ・積立金は、各種基金への積立です。 ・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。 ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために備えています。
投資及び出資金	85,650		
貸付金	315,001		
繰出金	12,697,331		
予備費	70,000		
小計	13,581,396		

合計	143,005,000
----	-------------



義務的経費が多いね。
家計簿に置き換えると
どうなるのか？



那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

収入(歳入)の家計簿は、10頁に掲載しています。



なは家の家計簿
(1年間の支出状況)

支出項目	金額(万円)
食費 (人件費)	96
医療費 (扶助費)	262
光熱水費・通信費、その 他の支出 (物件費など)	112
家の増改築 (投資的経費)	118
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰 出金)	64
ローン返済 (公債費)	63
合計	715

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿(支出)の特徴

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の58.8%もあります。

子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。

子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われます。

食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。



前年度と比べてどんな経費が増えて、どんな経費が減っているの？おしえて！



扶助費や普通建設事業費は増え、公債費や補助費等が減っています。

①「義務的経費」は、約29億4千万円の増となっています。内訳としては、扶助費が障害福祉サービス等給付費や障害・遺族基礎年金受給者向け臨時給付金などの増により約38億1千万円の増、及び人件費が約6億5千万円の増となっている一方で、公債費が約15億2千万円の減となっています。

②「消費的経費」は、臨時福祉給付金事業などの補助費等の減により約6億5千万円の減となっています。

③「投資的経費」は、市営住宅建替事業や学校校舎及び屋内運動場建設事業などにより、約59億2千万円の増となっています。

④「その他の経費」は国民健康保険事業など特別会計への繰出金の増により約3億4千万円の増となっています。

主要事業

平成28年度の予算の考え方

平成28年度予算は、重点施策として待機児童解消に向けた施策の充実、地方創生や子どもの貧困対策などの推進など、未来を見すえた施策展開を念頭に置いています。そして、国民健康保険事業特別会計の累積赤字解消や社会保障費の増加への対応などにも引き続き取り組む予算編成を行いました。

今年度は、那覇市制施行95周年の節目にあたります。長い年月をかけて発展してきた本市の歴史を踏まえつつ、協働によるまちづくりの主役となる市民の皆さまとともに、将来に希望が大きく広がる施策を進めていきます。

平成28年度の主要事業

ここで、平成28年度の当初予算の中からの主な事業について、いくつか紹介します。

1 市民の健康に関すること

[保健所 健康増進課]

●予防接種事業 10億1,127万円

感染症のまん延防止と感染予防のため、ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ・麻しん・風しん・水痘・日本脳炎・結核・インフルエンザ等の各種予防接種を実施し、市民の健康増進を図ります。

[保健所 地域保健課]

●妊婦健康診査事業 3億403万円

全妊婦を対象に健康診査及び保健指導を実施し、母体や胎児の健康確保を図ります。

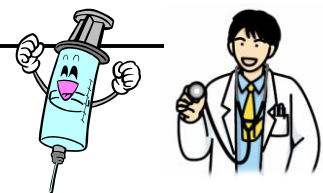
●小児慢性特定疾病医療費事業 1億8,787万円

小児慢性疾病のうち、小児がんなど特定の疾患については、その治療が長期間にわたり、医療費の負担も高額となることから、その治療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減のため、医療費の自己負担の一部を補助します。

[市民スポーツ課]

●那覇市健康ウォーキング推進事業 1,013万円

日常生活にウォーキングを取り入れることで、市民1人ひとりの健康意識を高め、誰もが健康で、心豊かな楽しい暮らしを実感できるよう、健康ウォーキング大会・講座を実施します。



2 子ども・教育に関すること

[保護管理課]

●子供の貧困対策支援事業 1億4,669万円

貧困状態にある児童や将来的に貧困に陥る可能性がある児童の掘り起こしと自立に向けた支援を行うために、子ども自立支援員の配置及び子どもの居場所の運営支援、支援員等の研修を実施します。

[子育て応援課]

●子育て世帯自立支援事業 3,073万円

支援員が世帯訪問・現状把握を通して、世帯の自立のための課題に対応する就労支援や学習支援等の実施機関への橋渡しを調整し、世帯の自立意識の高揚を図り世帯の自立を支援します。

〔教育相談課〕

●小中学校貧困対策支援員配置事業 5,971万円

全中学校区に、子ども寄添支援員（スクールソーシャルワーカー）を配置し、貧困家庭（準要保護世帯等）の児童生徒の実態把握・分析を行い、学校や関係機関と連携し、子どもの貧困問題対策に取り組めます。

●自立支援教室（きら星学級）事業 2,712万円

自立支援教室「きら星学級」に支援員を配置し、遊び・非行傾向で不登校等の児童生徒を対象に、様々な体験活動を通して集中的にサポートを行い、自立心を高め、学校への登校復帰を目指していきます。

〔こども政策課〕

●上間幼稚園園舎建設事業 ●真和志幼稚園園舎建設事業 ●城南幼稚園園舎建設事業

●城西幼稚園園舎建設事業

計 7億1,986万円

老朽化した幼稚園園舎を改築し、園児の良好な教育環境を確保します。

●児童クラブ運営補助金 6億4,038万円

児童福祉法に基づく放課後児童クラブの運営費の一部補助として、児童数、開設時間、開設日数、障がい児受け入れ等の実績に応じて、補助金を交付します。

●真和志小区児童クラブ舎建築事業 ●上間小区児童クラブ舎建築事業

●城西小区児童クラブ舎建築事業

計7,140万円

放課後の児童の安心・安全を確保するため、小学校敷地内に放課後児童クラブ舎を整備します。

●認定こども園推進事業 283万円

市立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を円滑に実施するため、非常勤職員を配置し、移行支援業務等を実施します。

〔施設課〕

●上間小学校校舎建設事業 ●真和志小学校屋内運動場建設事業 ●大名小学校屋内運動場建設事業

●城南小学校水泳プール建設事業 ●城西小学校屋内運動場建設事業

計15億6,440万円

老朽化した小学校の校舎・屋内運動場・プールの改築を行います。

●鏡原中学校校舎建設事業 ●真和志中学校校舎建設事業 ●城北中学校屋内運動場建設事業

計31億3,949万円

老朽化した中学校の校舎・屋内運動場・プールの改築を行います。

〔学校教育課〕

●特別支援教育充実事業（小・中学校） 1億4,700万円

特別に支援を要する児童・生徒への人的支援を行うため、特別支援教育ヘルパーの派遣や臨床心理士の配置等を行います。

●小中一貫教育推進・推進支援事業 6,909万円

義務教育9年間で修了するにふさわしい学力の育成、豊かな人間性や社会性の育成、中学入学時の不安解消を図る目的から小中一貫教育をすすめていきます。



3 高齢者に関すること

[福祉政策課]

●安心生活創造推進事業 2,723万円

住民参加による地域づくりを通じて、地域住民の社会的孤立を防ぎ、誰もが社会との「絆」を感じながら、安心して生活できる基盤を構築します。

[チャーがんじゅう課]

●高齢者公共交通割引制度 466万円

那覇市在住の70歳以上の高齢者に外出の機会や積極的な社会参加を促すため、土・日・祝祭日（慰霊の日を含む）にモノレール各駅窓口で販売されている「がんじゅう一日乗車券」の一部補助を行います。

●リハビリふれあいディサービス事業 3,686万円

日常生活機能に低下がある高齢者に対して、自立した生活が営めるようにすることを目的とし、自治会集会所や公共施設等を活用し、理学療法士等の専門職による機能訓練やリハビリテーションを実施しております。



4 環境に関すること

[環境保全課]

●大気汚染防止対策事業 1,221万円

市民の健康の保護、生活環境の保全を図るため、二酸化硫黄やPM2.5等の大気汚染物質の測定、大気汚染物質測定機器の計画的整備、有害大気汚染物質の調査、工場・事業場等の監視、指導等を実施します。

●住宅騒音防止対策事業 6億4,532万円

那覇空港周辺の騒音対策区域内における、住宅の所有者等が行う騒音防止工事にに対し、経費の全部又は一部を補助する事業です。

[廃棄物対策課]

●ごみ減量・資源化推進事業 1,282万円

ごみの発生抑制、資源循環型社会を促進するため、市民及び事業所に対する普及啓発活動、環境教育、生ごみ処理機器購入支援奨励や4R促進イベントなどの取り組みを実施します。



5 観光・産業振興に関すること

[商工農水課]

●市魚マグロ等水産物流通支援事業 1,000万円

市魚である「マグロ」のPR活動及び消費促進のキャンペーンを実施する事により、マグロの認知度向上、消費促進を図り、水産業振興に繋がります。

●中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業 1,008万円

本市産業の振興発展に向けて、市内の中小企業が開発した商品・サービスの県外・海外へ販路拡大を図るため、中小企業事業者へ支援を行います。

●誘致活動サポート事業 1,233万円

企業誘致を推進するため、県外で活動が可能な民間企業等に業務委託し、誘致活動をサポートする事業を展開するとともに、WEB上で市内オフィス物件の情報を積極的に発信します。

〔なはまちなか振興課〕

●頑張るマチグー支援事業 3,000万円

中心商店街の活性化に向けた事業を行う者の創意工夫による積極的な取り組みに対し、助成金による支援を行い、中心商店街の活性化を図ります。

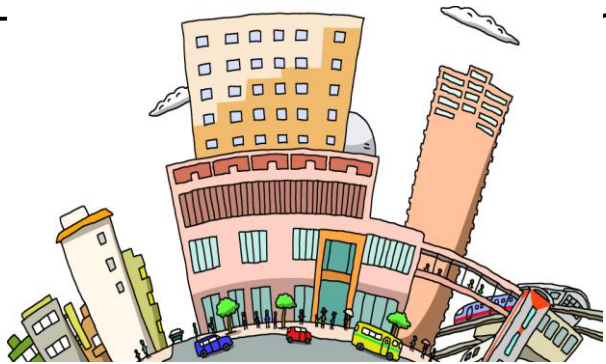
●国際通り情報発信大型ビジョン活用事業 1,027万円

県都那覇市の最も重要な観光地のひとつである国際通りに、更なる賑わいを創出するため、大型ビジョンを設置し、国際通りのランドマークに位置づけ、新たな賑わいを創出します。

〔観光課〕

●外国人観光客受入整備事業 2,700万円

外国人観光客の増加に伴う周辺店舗への外国語対応職員の派遣や、年々増加するクルーズ船観光客に対する案内所業務等を実施します。



6 その他の事業

①協働によるまちづくり

〔まちづくり協働推進課〕

●協働によるまちづくり推進事業 580万円

市民主体の協働によるまちづくりを推進していくため、地域を支える活動をしている市民の輪をつなぐ「那覇市協働大使委嘱」事業の実施、及び、協働大使の自主的な取り組みのさらなる活性化を図るため、「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」の活動を支援していきます。

●地域（防災）案内付き掲示板設置改修補助事業 2,318万円

地域住民や観光客等の安全安心の向上及び地域の景観形成と自治会活動の活性化を図るため、防災等に関する情報を盛り込んだ沖縄らしいデザインの掲示板の設置又は改修に向け、自治会に対する補助事業を実施します。

②平和交流

〔平和交流・男女参画課〕

●第6回世界のウチナーンチュ大会那覇市出身者交流事業 377万円

10月に開催される「第6回世界のウチナーンチュ大会」に併せて、海外・県外から参加される那覇市出身者と市民との親睦、交流を深めます。

●那覇・福州友好都市締結35周年記念事業 165万円

那覇・福州友好都市締結35周年を迎えるにあたり、福州市からの訪問団の受入と、市長を団長とする那覇市民訪問団による福州市訪問を実施します。お互いが現地での記念式典・祝賀会、関連イベント等に参加することで一層の相互理解と友好発展を図ります。



③市民に開かれた効率的な行政

[企画調整課]

- 第5次総合計画策定事業 1,320万円

現第4次総合計画の期間が平成20年～29年までとなっているため、その計画の終わる最終年度とその前年度において、現計画の評価と新規計画を策定します。

[情報政策課・ハイサイ市民課]

- コンビニ交付導入事業 ●コンビニ交付事業 計4,029万円

市民サービスの向上を目的に、全国のコンビニエンスストアにおいて、本市の住民票や印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等を取得できるようにするための事業です。

[ハイサイ市民課]

- 個人番号カード交付事業 4,581万円

平成27年10月より個人番号の附番・通知が始まり平成28年1月から個人番号カードの交付が開始されました。平成28年度もその交付事務を円滑に推進するため、臨時窓口を開設し通知カードや個人番号カードの確実な交付を行います。

[公園管理課]

- 那覇市松山公園文化交流施設管理運営事業 2,040万円

那覇市松山公園文化交流施設（福州園・松山公園連携施設・松山公園駐車場）は、松山公園の一体的な利用、地域の活性化及び観光の発展に資する事を目的とし、指定管理制度を用いて市民・観光客が安全に利用できるように管理します。

④防災・災害等に関すること

[総務課]

- 津波避難ビル維持管理業務 2,628万円

若松市営住宅跡地に完成した那覇市津波避難ビルについて、当該ビルの清掃・警備等総合維持管理業務を行います。

[建築指導課]

- 那覇市民間建築物耐震化促進事業 2,302万円

建築物の耐震化を促進するため、不特定多数が利用する民間建築物の耐震化事業に対して補助を行います。

[消防局総務課]

- 梯子車購入事業 2億2,478万円

本市は、那覇空港や旅客港があり、観光客が多く滞在するため、市内には中高層ホテルや大型商業施設が集中しています。中高層建物火災等に対応するため、老朽化した梯子車を更新します。



⑤文化の継承と発展

[文化振興課]

- 新文化芸術発信拠点施設整備事業 4億434万円

新文化芸術発信拠点施設の建設に向けて、平成28年度は基本設計、管理運営基本計画策定等を予定しています。

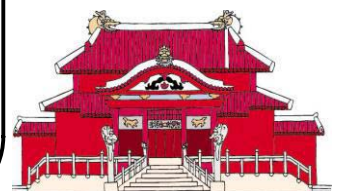
[文化財課]

- 国宝「琉球国王尚家関係資料」修理事業 1,704万円

平成18年に国宝に指定された「琉球国王尚家関係資料」の展示及び公開活用を促進するため、尚家文書の修理を行います。

- 特別展事業 364万円

沖縄に焼き物の技術を伝えたと言われる朝鮮人陶工の来琉400年を記念した特別展を実施します。



⑥市街地の整備

〔都市計画課〕

- 那覇港管理組合補助金 6億3,816万円

国際物流拠点の形成や観光・リゾート地の形成など、安心・安全で魅力ある港湾を目指すための施設整備等の事業です。

〔建設企画課〕

- 地域居住機能再生推進事業 40億3,588万円

国庫補助金事業「地域居住機能再生推進事業」を活用し石嶺市営住宅建替事業及び大名市営住宅建替事業を行います。

〔道路建設課〕

- 街路整備事業 14億6,110万円

市道における交通渋滞の緩和、交通安全の確保、交通アクセスの利便性等を図るため、国土交通省都市局所管の沖縄振興公共投資交付金を活用した街路事業です。

- 沖縄都市モノレール延長事業 28億4,767万円

モノレール延長計画総延長4.1 kmのうち、石嶺駅を含む約1,630mのインフラ事業を実施するものです。平成24年度より工事着手し平成31年春の開業を目標に進めています。

〔花とみどり課〕

- 公園整備事業 11億8,729万円

公園整備事業における整備工事、物件調査委託、設計委託、用地補償を実施し、公園整備事業の促進を図り、地域住民に良好な都市環境を提供します。（整備公園：久場川公園外15公園）

〔市街地整備課〕

- 農連市場地区市街地再開発事業 26億3,100万円

事業組合が施行者となって行う農連市場地区防災街区整備事業を促進し、快適で魅力ある市街地をつくることを目的とした事業です。



⑦その他

〔秘書広報課〕

- 那覇市制施行95周年記念事業 356万円

平成28年度は、大正10年に市制が施行されてから95周年目の年を迎えます。例年、市制施行記念日に行っている市政功労者の表彰に加え、5年毎の節目の年に行う特別表彰者（約50名）への表彰を行います。

〔市民生活安全課〕

- 保安灯設置等事業補助金 2,913万円

保安灯の設置及び維持を行う団体に対し、補助金を交付します。補助額は、新設・修繕については1団体につき5灯以内とし、LED型は1灯5万円以内。電気料については1灯当たり年額1,680円を補助します。



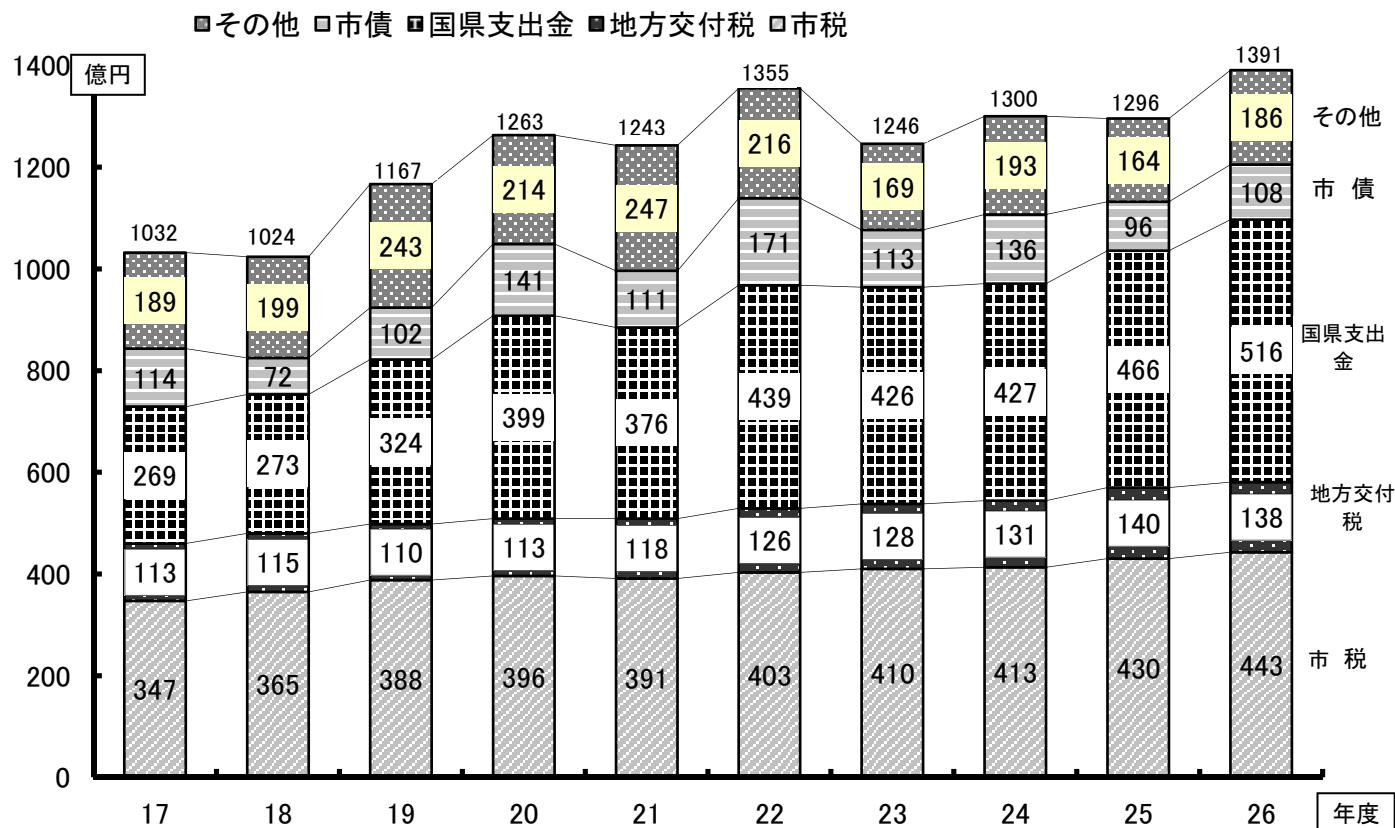
資料編

収入と支出の見積もりが予算で、その予算を使った結果を決算といいます。最後に、平成17年度から平成26年度の決算の状況を説明します。

歳入(科目別歳入の推移)

◆那覇市の平成17年度以降の普通会計の科目別収入の推移

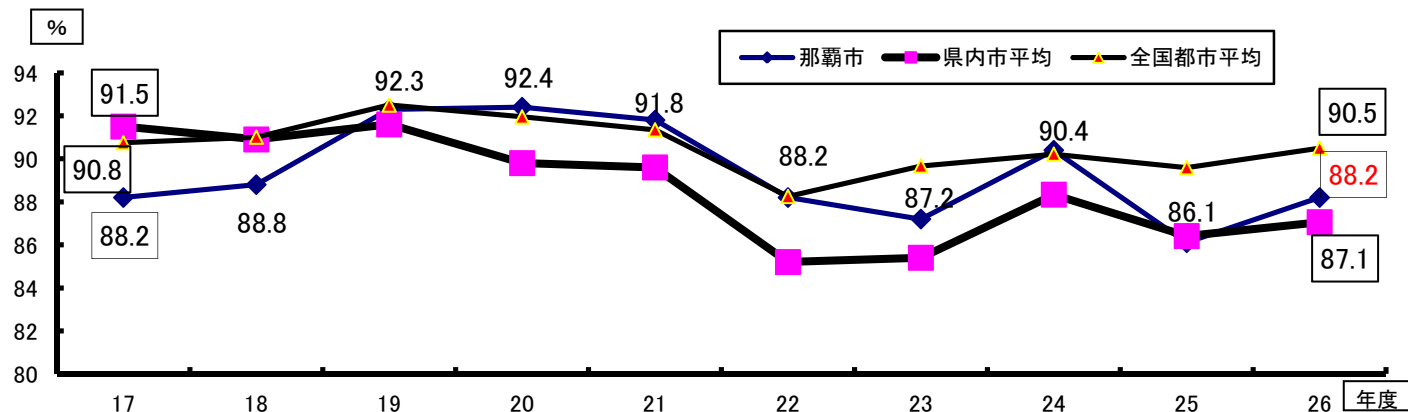
平成17年度と平成26年度を比較すると市税については、新都心地区の開発や税源移譲等が要因となって、約96億円増加しています。また、国県支出金も247億円増加、全体の37.1%を占めています。一方、地方交付税の全体に占める割合は、2.7%減少しています。



【経常収支比率】

経常収支比率は、市税・地方交付税などの経常的な一般財源収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的に支出される経費に、どれだけ充てられているかを示した指標です。その団体の財政構造の弾力性を判断するものです。この比率が高いほど一般財源のほとんどが経常的な経費に費やされるため、使途の自由度がなくなり、市民の新しいニーズへの対応や投資的経費に充てる財源が少ない状態であることを示しています。一般的に経常収支比率は70～80%が望ましいとされています。

◆経常収支比率:那覇市、県内市平均、全国都市平均の推移

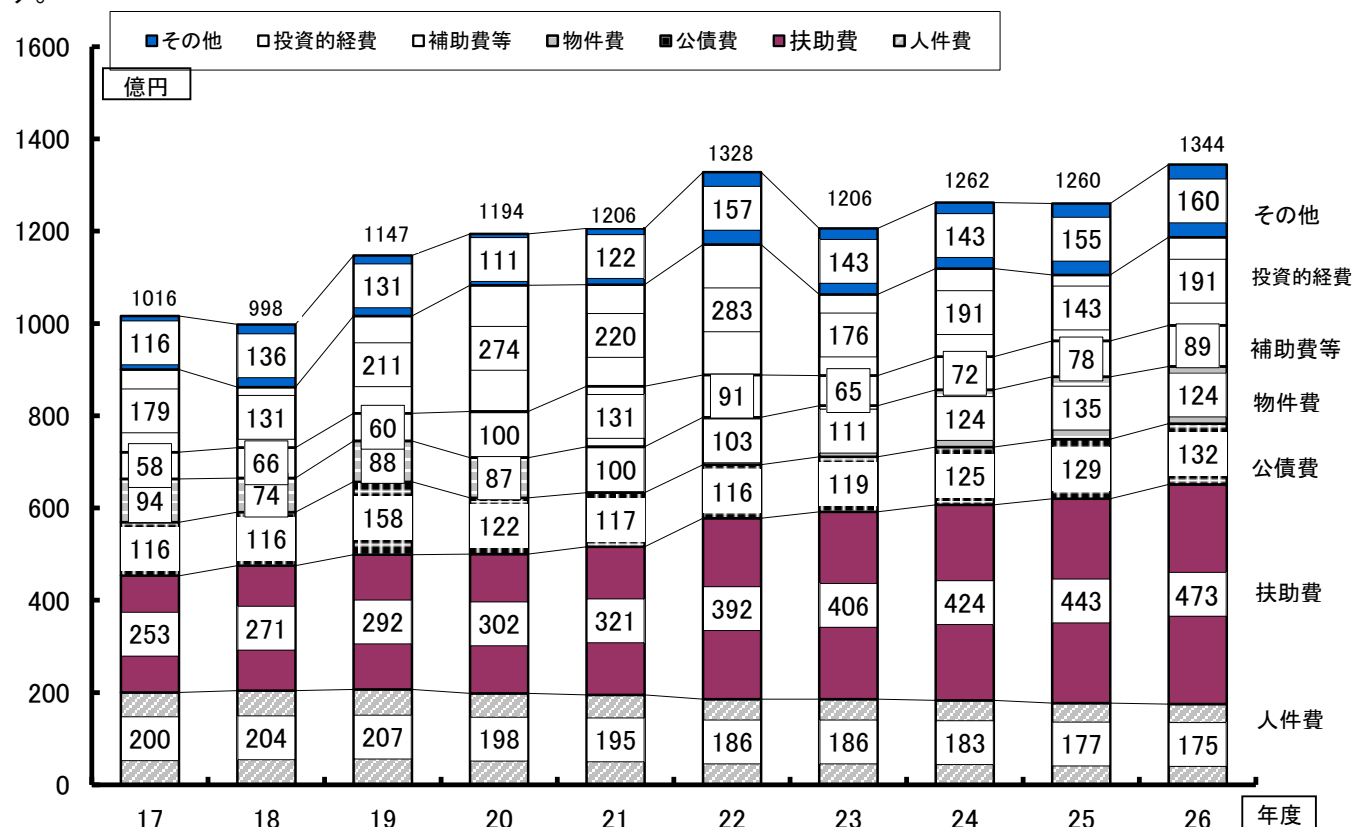


平成17年度から平成26年度まで上下動していて平成26年度は88.2となっています。平成26年度は、全国都市平均の90.5を下回っていますが、対前年比においては2.1%の増となっています。これは、人件費に係る経常収支比率が対前年度1.1%減になったものの、公債費(1.8%増)、物件費(1.0%増)に係る経常収支比率が増となったためです。

歳 出(性質別歳出の推移)

◆歳出の性質別推移を見たのが次のグラフです。

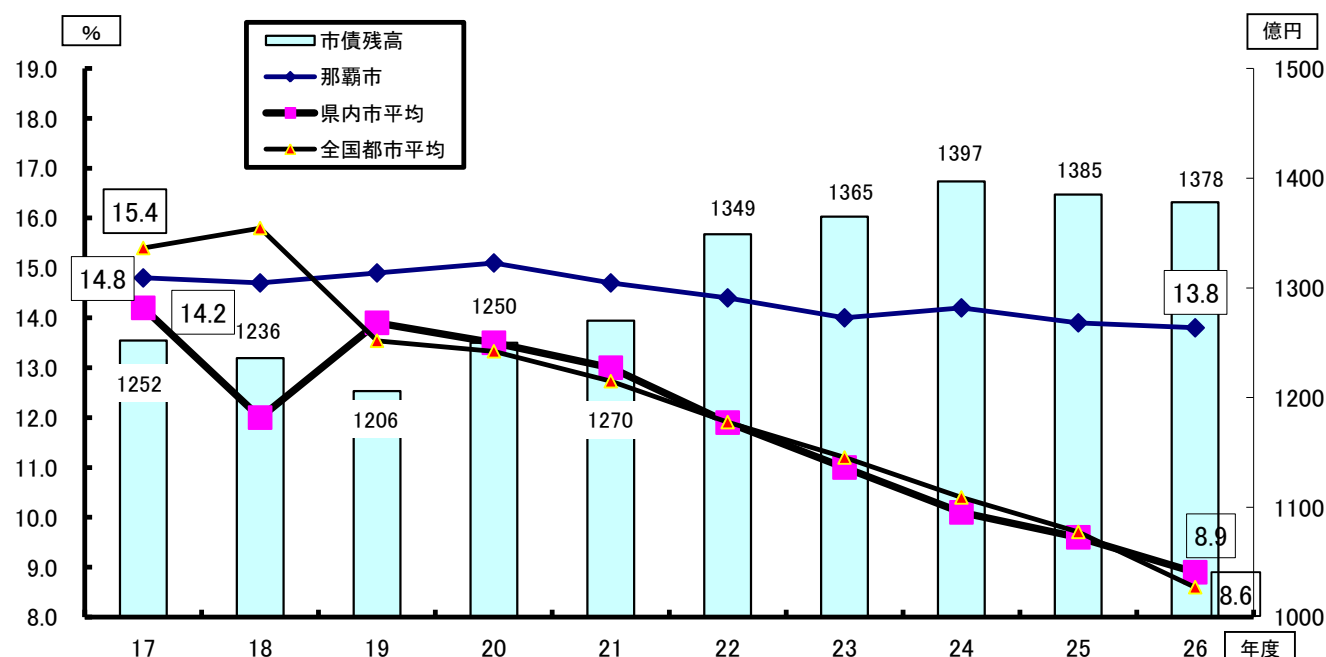
人件費、扶助費及び公債費の義務的経費の占める割合は、平成26年度で58.0%と全支出の約6割を占めています。人件費は平成17年度と平成26年度を比較すると職員定数の見直しなどにより25億円減少しています。一方扶助費においては、増加傾向で推移し、平成17年度と平成26年度を比較すると、実に223億円も増えています。



【実質公債費比率】

地方債を借り入れた際、毎年度元金の返済及び利子の支払いが必要となります。これに要する経費の総額を公債費といいます。この公債費と公営企業の公債費への一般会計繰出金の一般財源に占める割合を実質公債費比率といい、この比率が25%を超す団体は地方債を借り入れることが制限されます。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の実質公債費比率及び那覇市の市債残高の推移



那覇市の実質公債費比率は、全国都市平均(8.6)及び県内市平均(8.9)と比較すると、13.8と依然として高めに推移しています。これは、未買収道路用地取得や学校借用校地購入等の特殊な事情により、借入額がかさみ、数値が高くなる一因となっています。

おわりに

ここまで、予算の基礎知識にはじまり、本市の決算の状況までご説明してきました。

予算を編成する意義や本市の平成28年度の予算規模、収入・支出、主要施策について、おわかりいただけたかと思います。

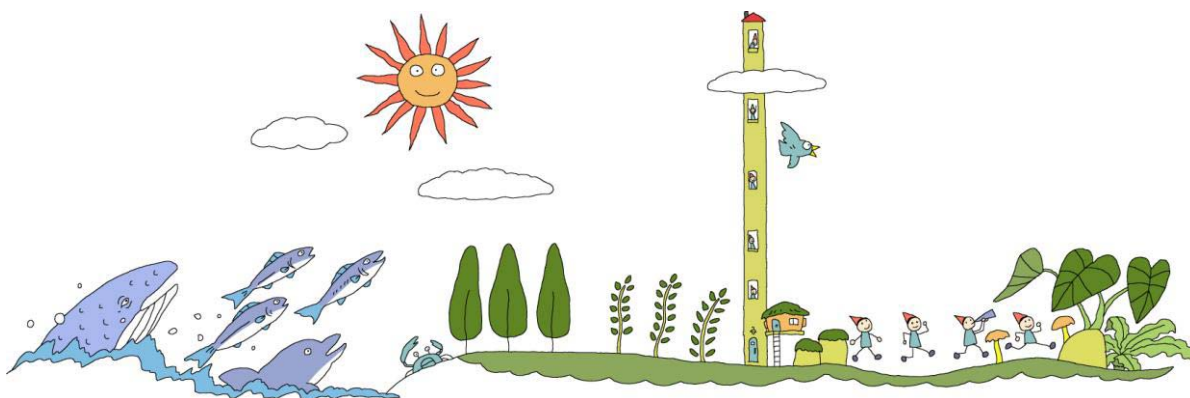
「家計簿に置き換えると」編でもわかるように、本市の予算は、収入は決して低いとは言えませんが、その実情は、国や県からの依存財源に頼っています。支出では、福祉充実にかかる扶助費は年々増加していて、施設整備にかかる経費も経常的に発生していくと思われます。

このような厳しい状況なので、予算編成の際には、「何に、いつ、どのくらいの費用が必要か。」「どの事業を優先するか。」「費用に対して効果は適正か。」という様々な視点をもちながら作成していくことが重要だと考えています。

市民のみなさんにおかれましても、那覇市の予算について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

企画財務部 財政課





なはしのよさんのはなし



本冊子についてのご意見をお待ちしております。

平成28年度 なはしのよさんのはなし
 平成28年6月／発行：那覇市企画財務部財政課
 〒900-8585 那覇市泉崎1-1-1
 TEL098-862-9938 FAX098-862-4268